

# 複雑に変わる入試

自分に合った大学はどこか。高校生や保護者らに大学選びの情報を提供する「大学進学フェスタ」が今月上旬、横浜市西区のパシフィコ横浜で開かれた。青山学院大や神奈川大、横浜市大、桜美林大など首都圏を中心に121大学が参加。改革が大きく進む大学入試に対応しようとする6500人が集い、模擬授業も体験しながら将来を模索した。

(丸山 孝)

このコーナーでは各大学の得意分野を生かした授業が人気を集めていた。

## ▼「情報戦」

大学入試はここ数年、民間機関による英語検定の導入や、主体性をはぐくむ教育への移行が検討されるなど複雑化している。このため最新の動向をいかに得るかが鍵を握る「情報戦」の様相も呈しており、フェスタでは昨年からの新たな動きを細やかに伝えるコーナーが設けられた。

CG高等館東進衛星予備校では「将来自分がやりたいことを実現できる大学と学部をしっかりと見定めてもらいたい」と話している。

## 横浜で大学進学フェスタ

大学はいま変革の岐路にある。国立大学の学部改組やキャンパスの都心回帰、医療系学部の増加。各大学独自の取り組みが進む。こうした動きに入試制度も呼応するため、最新の情報が欠かせない。

さらに国際化社会に向けて英語教育などを重視した人材育成が加速、2020年には入試改革が迫り、同フェスタは、こうした動向を多角的に伝えようと、CG高等館東進衛星予備校(本部・横浜市港南区)と神奈川新聞社が主催した。ことしで8回目。

来春に都市科学部を新設する横浜国立大の入試相談ブースを訪れた小田原市の高校2年生は「将来はまちづくりや観光産業の仕事に就きたくて話を聞きに来ました」。大学の担当者に卒業後の就職や留学制度まで念入り

## 高校生ら6500人 将来模索

に質問していた。

### ▼得意分野

横浜薬科大(同市戸塚区)の体験実習コーナーでは漢方薬を使った入浴剤の作り方を学んだ。医療現場では多くの漢方薬が処方されているが専門学科は全国でもごくわずか。フェスタでは漢方薬学科・薬科学科講師の鰐淵清史さんが血流改善などに効果のある、いわ



体験実習コーナーでは、漢方薬を使っての入浴剤作り体験など、大学独自の工夫がみられた。パシフィコ横浜



キャンパスライフや入試について、大学にじかに話を聞こうと多くの高校生や保護者が集まったパシフィコ横浜